

平成28年度 栗岡学園 自己点検・評価票

平成19年12月に改正された学校教育法に基づき今年度の自己点検・自己評価を以下のとおり実施する。
評価結果については設置者に報告する。記入項目は「教育」、「施設・設備」、「学生サービス」の3テーマに関する項目とする。

【記入方法】

「教育」、「施設・設備」、「学生サービス」の項目ごとに

- 1) 学校の現状がどのようになっているか
- 2) どのような良好な点や問題点があるか
- 3) 現状を踏まえた5段階による自己評価
- 4) 今後、どのようにして向上・改善を図っていく方針であるか
を簡明にご記入ください（自己評価は数字に○を付けてください）。

学 校 名：学校法人栗岡学園 四条畷看護専門学校

回答責任者：谷川 百合子（役職：副校長）、岸 さゆり（役職：教務主任）前川 裕明（役職：事務）

教育分野 (以下に点検・評価する教育分野の番号を○で囲んでください。)

1 リハビリ

2 看護

1 教 育

項 目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. カリキュラムは貴校の教育目標をどのように反映していますか	<p>・学校法人栗岡学園の理念である「社会に貢献し得る人材育成」に基づき、豊かな人間性を備えた良識のある人材育成を教育目標に掲げカリキュラムに反映させている。</p>	<p>・カリキュラムの考え方は、教育理念、教育目的・目標、学年別到達目標の一連の流れで示している。学生には、学生便覧や実習要項、シラバスで具体的に示している。</p> <p>・国家試験合格率は、常に全国平均を上回っている。</p>	<p>5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分</p>	<p>本校の学生の特徴と看護教育の現状を見据えながら、教育目標の到達度を確認する。</p> <p>・国家試験 100%合格を目指す。</p>
2. カリキュラムに卒後の職場のニーズをどのように反映していますか	<p>・「コミュニケーション能力」と「問題解決能力」の育成に向けたカリキュラムを構築している。コミュニケーション能力は、人間関係論、英語、哲学、情報科学、論理学、基礎看護学援助論Ⅰで関わり、問題解決能力は、基礎看護学援助論Ⅲ、各看護学援助論Ⅰ～Ⅲ、統合演習や実習中の看護の実際を看護過程で展開しており、職場で活用できている。そこでは学生の気づきを中心にリフレクションを行っている。又、「看護研究」は、看護の統合と実践概論において、ケーススタディの取り組みをしており研究の基礎作りとなり職場に反映できている。</p> <p>・チームで協力することの意義については、グループワークや課外活動での共同作業の後に振り返りをして意</p>	<p>・リフレクションの方法は、教員各々が研修会等で学習し学生指導に活かしている。</p>	<p>5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分</p>	<p>・今後卒業生と、就職先病院や実習病院から本校におけるカリキュラムの評価を受ける。</p>

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
	味づけている。更に統合演習や、実習中・後にそれぞれ意味付けを行っている。			
3. 授業科目の学年進行や時間配分は適切ですか	・指定規則の考えを基本としている。1年次 1470 時間、2年次 720 時間配分し、適切に運用できている。科目の進行は、2年次に集大成するというカリキュラムデザインと各分野の考え方に沿っており妥当と考える。	・講師と調整しながら、指定規則を遵守した教育計画が行われている。	5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	・カリキュラム委員会を設けて、定期的に見直す。
4. シラバス（授業要項）を作成していますか（内容は適切ですか）	担当講師である、医師、薬剤師、大学の講師、看護師等、有資格者から協力を得てシラバスを作成している。各領域の科目目標に沿った内容であり、授業は予定通りに進んでいる。	・学生は、シラバスに沿った事前学習が可能である。 ・講師に講義依頼時、科目目標に沿った依頼ができています。	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	・時代の要請や、学生の学力に応じて、課題があれば各担当分野で定期的に内容の見直しが必要。 ・
5. カリキュラムの見直し体制はどのようにしていますか	・学科担当者が課題を見出し、適宜教務会議に諮り学校全体で調整を図っている。 臨地実習においては、臨床指導者会議で出た意見（評価）を教務会議で検討し、実習要項に反映させている。	・看護師に必要な、倫理やフィジカルセラミット力等を網羅した看護実践力の強化を図るため、科目担当者は、講師や、実習施設、研修会等で得た情報を教員間で共有する等、看護教育の質向上に向けた取り組みをしている。	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	・カリキュラム委員会を設け、教育目標から下りた科目内容・考え方の検討をする。

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
6. テキストや教材をどのような基準で採用していますか	<ul style="list-style-type: none"> ・テキストは、本校の科目目標や国家試験出題基準を参考にクリエイシ、又、講師の意見や学生の経済的負担を考慮しながら選定している。 ・教材は、技術演習や、課題学習に活用できる物を採用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・外部講師には、テキスト使用後にご意見を伺い、教育内容の質向上に反映させている。 	5 ④ 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・年度末に意見を集約し教務会議で検討する。 ・カリキュラム委員会を設置し検討する。
7. 目標とする教育効果を踏まえて適切に成績評価を行っていますか	<ul style="list-style-type: none"> ・シラバスにて成績評価の方法は筆記試験、レポート、総合評価により行うことを明記し明確化を図っている。学生便覧において評価者の複数の場合は、その割合を明示し、追試・再試験、単位未修得者の評価基準も明確にしている。 卒業判定会議は、学校運営会議メンバーで開催し公平に評価を行っている。 ・単位の互換について、大学卒（短大）等の入学生に対しては、入学手続き終了者に説明資料を送付し入学後早期に認定を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・休学者、単位留年者の成績評価は本人、保証人、保護者への説明と納得を基本とし、未修得単位が出ないように配慮している。 	⑤ 4 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・成績評価基準に係る問題が生じた時は、教務会議で検討する。
8. 学生の理解度に応じて授業を柔軟に進めていますか	<ul style="list-style-type: none"> ・入学直後に「人体の機能と働き」の確認テストを実施し、学生の理解度の把握に努めている。 ・受動的な一斉授業でなく、GW を重視し学生が主体的に考え、学習が進められるよう配慮している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・講師は、学生個々の理解度を把握しながら、授業方法の工夫をしている。 ・授業の中で発言する機会を多く取り入れ、授業に参加させるよう努力している。 ・質問は、丁寧に対応し、理解を深めさせている。 	5 ④ 3 2 1 十 ふ 不 ← つ → 十 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> 個別面接を重視し学生の生活状況と関連させながら自宅学習の方法を学生と一緒に考える。 ・授業の方法については、授業参観を習慣化し、他者からの評価を授業に活かす。 ・四校共通の学力テストに合わせた指導を実施。

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
		・課題をレポート提出させ、理解不足の部分を把握し授業に反映させている。		
9. 学生の学力不足を補うための教育をとくに実施していますか	<ul style="list-style-type: none"> ・学習と私生活のバランスの取り方等意識的に行い、予習復習の習慣化と学習ノート作成の指導。 ・二年次は国試対策の一環として、チーム編成を行いチューター制を導入している。 ・技術演習は、放課後に個人指導を行っている。 ・入学時の「人体の仕組みと働き」の確認テストから、学力不足の学生には、小テストを継続している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返りが可能な学習ノートを学生自身が考案している。 ・演習は、基本を忠実に繰り返し、指導をしている。 ・小テストは根拠を踏まえた学習指導に力を入れている。 	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・授業評価、授業態度、出欠状況等、気になる学生の個人面接を重視。 ・教員相互に授業参観を行い、授業方法を研究する。
10. マナー（喫煙指導などを含む）やしつけの教育や指導を行っていますか	<ul style="list-style-type: none"> ・全館禁煙。 ・便覧に則り、専門職業人としてふさわしい品性を備えるための指導を実施。 ・一年次後期の実習開始時期より、社会人基礎力チェック表を用い、自己の振り返りを行っている。 	・気になる学生は、教務会で情報の共有を行っており、全教員が同じ視点で指導が行える。	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・より一層学生の自尊心を尊重した指導法を考えていく。 ・入学当初より社会人基礎力チェック表を活用する。
11. 教育技術（教育方法）の研修・研究を実施していますか	<ul style="list-style-type: none"> ・年2回（公費）以上は、研修会・講演会に参加し、教育技術の向上に努めている。 ・教員相互の授業参観を実施（1回）し授業研究を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業参観は授業改善に向けた第1歩の取り組みであった。 ・実習引率は、教育研修として、大きな効果がある。 ・実習方法を研究したことにより、 	5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・教員全員が年2回以上研修・研究会に参加する。 ・授業改善に向けて、本校のみならず他校にも出向き授業参観の機会をもち、教務で探求する。 ・教育の質向上に向けて、専門領域

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
	<ul style="list-style-type: none"> ・教員全員が実習期間中実習場に赴き、研修の機会としている。 ・演習形式の講義を中心に授業案の検討を実施。 ・実習施設確保困難を極めたため実習要項の検討を実施。 	実習施設の確保が可能となった。		<p>の授業研究を積極的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修会・研究会の伝達講習を行い全員で共有する。
12. 学生による授業評価を実施し教育改善に反映していますか	<ul style="list-style-type: none"> ・講師の承諾の下、四校共通のアンケートで授業評価を実施している。結果は、集計後講師にフィードバックしたりカリキュラムに反映させている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業の振り返りや気づきが明確となり次回に反映できる 	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・評価の公平性を保つために学生への説明方法の検討。

2 施設・設備

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. 教室の数や広さ、付帯設備は適切ですか	<ul style="list-style-type: none"> ・クラス数に合った専用の普通教室をもち、1学年定員 40 名に必要な机と椅子の数を配置できる広さである。 ・グループ討議等が出来る多目的室を有している。 ・情報科学室は別棟に有し 1 人 1 台の割合でパソコンが使用できる。 ・付帯設備に問題はない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・付帯設備に不具合が生じたときは即対応しており、問題はない。 ・築 25 年経過し校舎の老朽化が進む中、学校の管理部門と連携し、校舎全体の整備管理を行っている。 ・防災危機管理マニュアルを作成し不測の事態に対応できる体制に向けた取り組みを行っている。 	5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・校舎、付帯設備に問題が生じた場合は、即対応し学習環境に配慮する。 ・防災委員会を設置し、危機管理マニュアルの見直しを行う中で校舎・付帯設備等は固定・転倒防止対策に向けた取り組みを行う
2. 図書室を設け蔵書を適切に揃えていますか（有効に活用されていますか）	<ul style="list-style-type: none"> ・リハビリ校と共有。 ・蔵書約 1 万冊、雑誌は約 65 タイトルの最新雑誌を毎月入荷。 ・図書司書が定期的に分野毎、領域 	<ul style="list-style-type: none"> ・他校と共有しているためより幅広い文献閲覧が可能。 ・1つの課題学習に対し、文献冊数に限界があるため貸し出しは先着 	5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・図書室内に文献検索やリフレッシュの場として、又、自習室としての空間づくりの工夫をする。

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
	別に分類し常に整理点検が出来ている。 ・卒業生の利用は、可能である。 ・図書の返却は、実習に合わせて処理されている。	順となる。 ・書籍・検索システムがあり利用している。		
3. 実習・実験室の数や広さ、附帯設備は適切ですか	・実習室は、指定規則に準じており、問題ない。 ・ベッドや沐浴槽等付帯設備は学生数に合わせており適切である。 ・教育内容に合った教材を計画的に揃えている。	・冷暖房・給湯器に不具合が生じた場合は、本校の管理部門と連携をとり即、対応できている。 ・希望する実習教材は殆ど購入出来ている。	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	・年1回の点検整備と共に、授業終了後はその都度点検を行う。
4. 最新機能を備えた視聴覚機器や情報機器は足りていますか（有効に活用していますか）	・情報機器はリハビリ校の情報科学室にあり、1人1台の割合でパソコンが使用できる。 ・プロジェクター等の視聴覚機器は2教室に揃えてあり、授業等有効に活用している。	・ケーススタディの授業では、他校と調整しながらパソコンを活用している。	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	・機器は丁寧に扱い、支障を来たした場合は迅速に対応する。
5. ニーズに応じた学生寮を保有していますか（有効に活用されていますか）	・保有し管理責任者を置いている。 ・学校に近く、安全安心な環境の下、快適な日常生活を送っている。	・今年度開始の学生寮で3名の入寮者ではあったが、快適な生活を送っている。（次年度は、10名の入寮予定者がある。）	⑤ 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	・学生募集の際、他府県の学生に有効に活用する。
6. 体育館や運動場などを保有していますか（有効に活用されていますか）	・別棟の体育館を使用。 ・入学式・卒業式等の行事に使用。 ・サークル活動や地域住民にも開放している。	・学生の運動不足解消のため、放課後の使用可（要届出）。	5 ④ 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	・セキュリティの管理を厳重に。

3 学生サービス

項目	どのような現状ですか	良好な点あるいは問題点	5段階の自己評価	今後の向上・改善策
1. クラス担任制をとり修学の問題のある学生に対して適切な対応を行っていますか	<ul style="list-style-type: none"> ・学生相談の窓口として担任制をとっており、きめ細かな対応が出来ている。 ・担任は、必要に応じて担当教員と情報を共有し問題解決にあたっている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教育の経験や、教員の許容量により対応に差はあるが、全教員でフォローし合い学生支援にあたっている。 	⑤ 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・面接技法は研修会等で日々学習するが、必要に応じて助言・支援が必要。
2. 学生に対してカウンセリング（心理相談）を行っていますか	<ul style="list-style-type: none"> ・専門家による心理相談の利用可。 ・関連施設の医師による心理相談も可能。 	<ul style="list-style-type: none"> ・心理相談は、学外において週2回、予約制で実施。プライバシーは遵守されている。 ・専任教員は、傾聴・受容・共感的な対応にあたっている。 	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・相談しやすい窓口となるように、学生との信頼関係構築に努める。 ・専門家とコンタクトをとり、支援を得る。 ・教員はカウンセリング技法の研修を受ける。
3. 教室以外に休憩スペースが適当に置かれていますか	<ul style="list-style-type: none"> ・2Fにロビー有。飲食可能な休憩スペースとして活用している。 ・男女更衣室共、語り合いや休憩場所として活用。 	<ul style="list-style-type: none"> ・2Fロビーは狭いが、語り合いや休憩・交流の場となっている。又、更衣室も、休憩の場としてよく活用している。 	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・もう少し余裕のある休憩スペースづくりを考える。
4. 食事場所や売店などのスペースが設けられていますか	<ul style="list-style-type: none"> ・食事場所：教室・2Fロビー ・売店：無いが、学校出入りの弁当屋、週2回のパン屋で購入。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教室での昼食は、和気あいの雰囲気でのコミュニケーションづくりの場となっている。 	5 4 ③ 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・換気を頻繁に行うように指導。
5. 学校独自に奨学金や特待生制度を行っていますか	<ul style="list-style-type: none"> ・関連施設に奨学金制度があり、就職も可能である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校見学会や入学時に、関連施設及び公的機関の奨学金制度について説明を行っている。 	⑤ 4 3 2 1 + ふ 不 ← つ → + 分 う 分	<ul style="list-style-type: none"> ・更に奨学金制度の説明を行っている。

4 教育面などでの特筆すべき取り組み（自由記入）

※学内においてこれまで記入したこと以外に、教育、施設・設備、学生サービス面での特筆すべき取り組みがあれば記入ください。

- ・入学試験科目について：次年度からの入試科目は、本校の理念に基づいた、心豊かな専門職業人の育成をするために、看護に対する志向性や入学後の学習意欲を問う小論文・面接とした。
- ・学生寮について：学習環境を整えるために、管理人と連携を図りながら学生の生活支援をより深めていきたい。

以上